

(別紙4)

補助事業番号 28-4-008  
補助事業名 平成28年度 被災者や被災地域が行う復興活動 補助事業  
補助事業者名 一般社団法人アート・アンド・パブリック協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

震災から6年が経ち記憶の風化が叫ばれる中、『忘れない』ことが一番の防災となり、『希望』が復興の足がかりになると考え事業を実施している。  
願いを込めた桜風船づくりワークショップや桜花火を打ち上げることにより、鎮魂だけではなく未来に向けての希望を育てている。植樹した桜がセーフティラインとなって、後々子どもたちを津波から守る道標となることを目指している。また報告事業は、被災地以外で『思い出す=忘れない』機会をつくり、社会全体に防災への意識を高める役割をもつ。  
植樹した桜と関連の事業が、恒久的な『忘れない』ための仕掛けとなる。

(2) 実施内容

①桜3.11学校プロジェクトの実施

27年度、桜3.11学校プロジェクトは宮城県気仙沼市立唐桑幼稚園（9/6）、青森県八戸市立多賀小学校（9/30）、福島県相馬市原釜幼稚園・松川浦環境公園（3/10）で実施。関連事業は、普段では経験できないプロの美術家によるワークショップを実施先の要望に応じて実施した。

・唐桑幼稚園

・多賀小学校



・原釜幼稚園



(別紙4)

HP : AAPA (<http://www.aapa-japan.com/ja/>)

- ・ HP : Sakura 3.11 Project (<http://sakura-art311.net/>)
- ・ FB: Sakura 3.11 School Project (<https://www.facebook.com/sakura311school/>)

## ②桜3.11学校プロジェクトの報告

被災地の活動に留まらず、広くこの活動を知ってもらうことも「忘れない」事の一つと考え報告事業を行っている。恒例となっているNPOまつりは、全国から集まる人に事業を知ってもらう機会となった。

年度末に、記録動画（DVD）を作成し関係者支援者に配布した。

## 2 予想される事業実施効果

震災から6年が経ち震災の記憶と関心が薄れる中、改めて震災を考える機会として本事業はとても重要になっている。熊本地震でも東日本大震災での経験が活かされる事となり、『忘れない』ことは備えることにつながるの考えを改めることとなった。今後想定される南海トラフ大地震や火山噴火等への防災意識の向上に役立つと考える。

また、被災地は未だ復興の途中にあることから、未来への希望を育む事業は今後一層必要になると考える。その意味から、対象者をこども達とした本事業の役割は大きいと考える。また、こどもが元気になることより地域社会への広い波及効果も期待される。

## 3 補助事業に係る成果物

### (1) 補助事業により作成したもの

- ・ 記録DVD

### (2) (1) 以外で当事業において作成したもの

HP : AAPA (<http://www.aapa-japan.com/ja/>)

HP : Sakura 3.11 Project (<http://sakura-art311.net/>)

## 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人アート・アンド・パブリック協会  
(イッパソヤダソホジソアートアンドパブリックキョウカイ)

住所： 〒169-0051  
東京都新宿区西早稲田2-14-15 松川BOX A棟

代表者： 理事長 清水敏男 (シミズトシオ)

担当部署： 仙台事務局 (センダイジムキョク)

担当者名： 事務局スタッフ 村上真理子 (ムラカミマリコ)

電話番号： 070-6955-5539

F A X： 022-221-4111

E-mail： marikom@zb.cyberhome.ne.jp

U R L： <http://www.aapa-japan.com/ja/>